

平成26年度第5回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成26年8月28日（木）午後3時00分

場 所：市役所3階委員会室

事務局：企画政策課

外部アドバイザー：(株)船井総合研究所

1. 開会

代理出席（平野(陽)委員代理：旭市商工会 石毛筆頭理事、木村委員代理：千葉県農業事務所福田旭グループリーダー）報告

欠席（土屋委員、宇畑委員、平澤委員）報告

2. 委嘱書の交付

市長より農業委員会推薦の「遠藤委員」へ委嘱状の交付

3. あいさつ

委員長：大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

先日、第三セクター発起人会が開催され、道の駅も軌道に乗ってまいりました。来年の開業に向けて、皆様方のご協力をよろしくお願いします。

市長：大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

早速ですが道の駅の工事関係についてご報告いたします。8月19日に建築・外構工事及び機械設備工事、電気設備工事の入札を執行いたしました。心配されていた入札不調はなく、すべて落札されております。今後、関連する手続きを経て工事に入ることになりますが、現在は造成工事の着工中ですので、本体工事の着工は10月以降になる予定です。いよいよ道の駅も目に見えてくることとなります。

先日、株式会社設立のための発起人会が開催されました。発起人には株式会社が設立されるまでの間、ご協力をいただくこととなります。

先日、実施された県内の道の駅に関する意見交換会の中で、道の駅は通過する道路利用者へのサービス提供の場から、地域が抱える課題を解決する場へと成長していると話がありました。道の駅の制度発足から20年が経過し、近年では農業、観光、防災、文化等の地域の個性、魅力を活かした様々な取り組みが進められ、国も道の駅の機能を高めるための様々な支援策を打ち出しております。道の駅は従来の機能に地域が抱える課題を解決するための拠点機能が加わった、第2ステージを迎えているとのことでした。ある言葉に、ディズニーランドは永遠に完成しない施設であるとありますが、道の駅もまた、常に進化を続けていくものと考えます。

皆様には、旭市にふさわしい道の駅になるよう、活発な意見をいただきたいと思います。ご協力をお願いします。

4. 議題【道の駅運営に向けた検討項目】

※事務局より報告

- ・第1回発起人会の開催について報告

(1) 出荷者組織の設置について

※事務局より説明

- ・農水産物出荷者応募状況について説明

→現在の農畜水産物申込み人数は119名である。野菜類、米類、果樹類等の種類別の延べ人数は142名である。野菜・果樹類の個々の件数の合計は、74種類、278件である。

一般加工品等の申込み人数は33名である。農産物等加工品、菓子、手工芸品等の種類別延べ件数は34名である。

※アドバイザーより説明

- ・今後の出荷者募集の展開と売上構成について説明

→旭市道の駅直売施設で必要となる出荷者数について、計画上の売上げに係る初年度の農家割合を50%とすると、必要な出荷者数は132名である。現在の進捗率は106%であり、当初の目標割合に達している。今後も申込みを増やし、更に農家割合を上げていく。

各委員からの意見

委員：花の申込みは何件あるのか。

事務局：花卉類の申込は28件である。

委員長：花卉類の28件のうち、組織に属しているのは何件くらいあるか。

委員：花卉協議会の会員は15、6件と思う。足りない種類を把握するためにも、花卉協議会でもどのような種類があるのかまとめてみたい。

委員：旭市の道の駅の差別化という意味で、あくまでも生産者の出荷を主体に考えると、どうしても足りない部分は出てくるので、それをどう補うかを考えた方が良い。

事務局：花卉協議会の中で協議してもらおうと共に、生産者の意見も聴いていきたい。不足する花については、花屋に出荷してもらおうか、会社が仕入れて売るといった部分もあるので、発起人会も含めて協議していきたい。

委員長：次に市外出荷者の募集について協議願いたい。

委員：農畜水産物加工品の内訳を教えてください。また、餅類の申込みはあるか。

事務局：おおよその件数だが、弁当類が約7件、漬物が約6件、惣菜類が約12件となっている。餅類は惣菜類に含まれている。

委員：野菜等の種類別件数について算出方法を説明してもらいたい。

事務局：例えば野菜類の出荷者1名が3品目を出荷すれば、それぞれの品目で1件ずつをカウントしている。その合計が77種類286件となっている。

委員：加工品についてだが、あまり募集時期が遅くなると、材料等の準備が間に合わないのでは、早めに募集してもらいたいという意見を市外の方から聞いている。出荷者数があきらかに足りないようであれば、早めに募集をしてもらいたい。

事務局：9月末まで受付をした後、あきらかに不足する物については、市外出荷者の募集を検討していきたい。

委員長：道の駅では品揃いも要求される。不足する品を道の駅で仕入れるのか、市外出荷者から出してもらうかになると思う。9月の委員会時にはある程度、出荷者の数が分かるので、その時に方向性を協議したい。区長回覧やダイレクトメール等の効果により出荷者数が増えたと思う。9月末まで申込み期間があるので、引き続き委員の皆様にも周知をお願いしたい。

※アドバイザーより説明

- ・旭市産業まつりにおけるPR販売の実施について。
→旭市産業まつりで道の駅のPRを含めた野菜の直売を計画している。

各委員からの意見

委員：直売の経験が無い方には良い経験になると思う。そうでない方は殆どの方が委託で商品を置いていってしまうのではないかと。やってみるのは良いと思う。

委員長：PR販売については、出店の意向を出荷者に聴いてみてはどうか。出店希望者が少なければテントを半分の1つにしても良いと思う。市民に理解をしてもらう意味でもPRについては必要である。

事務局：今後、アドバイザーと生産者も含めて、やり方を協議したい。

委員長：PR活動については実施するが、販売方法については事務局の検討事項とすることよろしいか。

各委員：特に意見なし

(2) テナントの募集について

※事務局より説明

- ・テナント出展者募集要項（案）及び市内パン屋の状況について説明

各委員からの意見

各委員：特に意見なし

(3) その他

※事務局より説明

- ・道の駅のネーミングについて説明
→名称募集のタイムスケジュール(案)のとおり公募としてよいか。また、応募対象は旭市民としてよろしいか。

各委員からの意見

委員長：道の駅は全国にPRしていくことになるので、公募の方が良いのではないかと。他の道の駅はどうか。

事務局：他の道の駅について調べた中では殆どが公募である。

委員長：既に他の道の駅で使われている名称については、選定委員会で除いていく形か。

事務局：そうである。募集要項に、既に使用されている名称の制限については掲載する。

委員：12月に名称が決定するということか。

事務局：スケジュールの案では12月20日に募集を締切り、来年の1月20日に決定する予定である。何百件もの応募が予想されるので、選定方法について、これから詳細を決めていきたい。

委員長：応募方法は公募で良いとして、応募対象については、市民とするか、市外も含めるのか意見をもらいたい。

委員：市民限定にする理由は何か。

事務局：市で整備する道の駅なので、旭市民の方に決めていただきたいということである。

委員：選定委員会はどういう構成か。

事務局：あまり多数になると意見の収集が難しいので、概ね7名以内としたい。案としては、市長、委員長を含めた建設準備委員を中心に構成したい。

委員：市内の小学生に限定をして募集をしてはどうか。大人より子供の方が良いアイデアが出る。上位3名くらいの小学生に副賞を与えると良い。

事務局：現在の案では市民全体への公募であるが、状況によっては、市内学校に直接お願いに伺うのも良いと思う。

委員：副賞は考えているのか。

事務局：他の道の駅の聞き取りでも副賞を付けた方が多数の応募があると聞いている。副賞は1名ではなく、上位何名かに与えたいと考えている。

委員長：皆さんの意見をまとめると、名称は公募による、また公募対象は旭市民とすることよろしいか。

各委員：特に意見なし

委員長：そのように進めてもらいたい。また、産業まつりで名称公募のPRをしてもらいたい。

※事務局より説明

・視察研修の場所について説明

各委員からの意見

委員長：委員の皆様の中で、他に候補地があれば事務局に伝えてもらいたい。

事務局：次回の委員会では日程を含め、候補地を決定したい。

閉会 16:55